

## 8.2.4 国際交流

### 【評価項目 7-0-1】 国際交流（国内外における教育研究交流）

- （必須要素）国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
- （必須要素）国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性
- （選択要素）国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況
- （選択要素）外国人教員の受け入れ体制の整備状況、運用の適切性
- （選択要素）教育研究及びその成果の外部発信の状況とその適切性
- （選択要素）国際的な教育研究交流、学術交流のために必要なコミュニケーション手段修得のための配慮の適切性

#### <2003 年度に設定した目標>

1. 国際機関との連携を維持・強化すること
2. UNITEsへ学生を派遣するためのシステムを構築・整備すること
3. 世界レベルの行政経験者や研究者を客員教授として継続的に招聘すること
4. 外国籍教員比率を維持すること

#### （現状の説明）

本研究科では、“Think Globally. Act Locally.”の観点から、国連研修を毎年実施することで、国連を中心とした国際機関との連携を強化してきた。国連研修への参加学生（学部も含む）はすでに104名にのぼる。また、国連職員を専任教員として迎えるなど国連との人的交流を積極的に行っている（この中にはUNHCR＝国連難民高等弁務官事務所＝に在籍する大学院生も含まれる）。

また、2004年度より、UNITEs（国連情報技術サービス）ボランティアに学生を派遣することを決定した。この制度のもとで派遣される学生には、現地での活動実績および帰国後の報告書の提出をもって課題研究4単位を与えることになった。

国外から招聘客員教授も、次表に示すように、ほぼ毎年実施している。また、研究面においてはマードック大学（オーストラリア）、復旦大学（中国）と提携を結び、相互に研究交流を行っている。さらに、元オランダ首相のvan Agt氏、国連人口基金事務局長のThoraya Ahmed Obaid氏など、世界的に活躍している行政経験者や研究者を客員教授、特別講師として招聘することで、国際的な視点を持ち、かつ国際レベルの総合政策研究を推進している。なお、van Agt氏には2001年に、Obaid氏には2004年に本学名誉教授の学位が授与された。

<招聘客員教員>

年 度	氏 名 (出身国)
2000年度	Andrzej M. Wojtczak (ポーランド)
2001年度	Andrzej M. Wojtczak (ポーランド)
〃	Andreas van Agt (オランダ)
2002年度	Malcom Fitz-Earle (カナダ)
2003年度	なし
2004年度	Andreas van Agt (オランダ)
〃	クォン ヨンフン (韓国)
〃	Malcom Fitz-Earle (カナダ)

本研究科では、外国籍教員の割合が約25% (ALE〈英語教育の専門家である常勤講師〉を含めた場合は約36%)と極めて高い水準にあり、また下表に示すように海外出張件数も多い。このように、本研究科では、国際的な人的交流が活発に行われている。

<教員の海外出張(2000-2004年度、ALEを含む)>

目 的	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
1 Conference (including workshop)	23	23	29	54	43
2 Research (including meeting)	38	40	50	44	51
3 Lecture (invited)	4	3	5	6	1
4 Official Affairs	5	6	2	5	6
5 Fieldwork with seminar students	4	4	6	8	6
6 Others	2	1	1	3	5
計	76	77	93	120	112

(点検・評価の結果)

目標はおおむね達成されており、今後もこの水準を維持し、より一層活発な国際交流を進めていく予定である。UNITeSへの学生派遣制度については発足したばかりであり、まだ大学院生の派遣実績はない(学部生は7名派遣)。大学院学生は修学期間が短いためUNITeSに関心を持ちつつも応募に躊躇している学生が少なくない。国際的な視点を実体験をもって身につけるためには格好の機会であるので、大学院学生にも積極的に参加を呼びかける必要がある。また、今後も継続して国外からの客員教授の招聘を行うことで、世界レベルの総合政策研究をさらに充実させる必要がある。

(改善の具体的方策)

国連との人的交流をより一層促進するために、国連職員を講師として定期的に招聘するとともに、国外からの客員教授をひきつづき3名招聘するよう努力を継続する。